

王さまはさっそく、その
ことを世界中へお知らせ
になりました。そのかわ
り、もしと中で少しでも
いねむりをすると、すぐ
に切り殺してしまうから
そのつもりで、おいで下
さいと、お言いになりま
した。すると方々の王さ
まや王子たちは、何だ、
そんなことなら、だれに
だってできると言って、
どんどんおしかけて来ま

した。ところが、夜になって王女のお部屋へ、とおされて、しばらく王女の顔を見ていると、どんな人でもついウトウトねむくなって、いつの間にかグーグーねこんでしまいました。それで、来る人すべてが、一人残らずみんな王さまに切り殺されてしまいました。すると、ある王さまのところに、しかのようにきれい

な、そしてたかのように
いさましい、年わかい王
子がいました。この王子
がその話を聞いて、わた
しならきっとねむらない
で番をして見せる、一つ
行っただめして来ようと
思いました。しかしお父
さまの王さまは、王子が
うっかりねむりでもした
らたいへんですから、い
いやそれはいけないと
言って、どうしてもゆる